

3月30日（日） ショートメッセージ

聖書 マタイによる福音書 17章1節～13節 （新約 32頁）

メッセージ 「これはわたしの愛する子」

ペトロがこう話しているうちに、光り輝く雲が彼らを覆った。すると、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」という声が雲の中から聞こえた。
(マタイによる福音書 17章5節)

(1) 今年度最後の主日礼拝は、日本基督教団聖書日課の福音書の箇所を共に読みます。この記事は、先週の日曜日の主日礼拝で読んだ、イエス様がペトロを叱り、弟子たちに「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」と教えた日から六日後の出来事を伝える記事です。

(2) イエス様は、弟子のリーダーであるペトロ、そしてヤコブとその兄弟ヨハネの三人だけを連れて高い山に登られました。この三人はかつてガリラヤ湖の漁師であり、イエス様の最初の弟子として招かれた弟子たちです。この時、三人の弟子たちはとんでもない光景を目撃してしまいました。「イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた」(2節～3節)。

イエス様が彼らの見ている前で、この世界の者とは思われないほど顔が輝き、服はまるで光のように真っ白になりました。それは想像を超える姿です。そして、神さまから律法を授けられたモーセと、伝説的な預言者であるエリヤがイエス様と語り合っているのを目撃したのです。

この光景を見たペトロは、モーセ、エリヤと語り合っているイエス様に向かってこう言いました。

「主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。お望みでしたら、わた

しがここに仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです」(4節)。

すると、光り輝く雲がイエス様たちを覆い包みました。そして雲の中から声が聞こえてきました。「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」(5節)。この言葉は、イエス様が洗礼を受けた時に天から聞こえてきた言葉です。しかし、今度はもう一言加えられていました。「これに聞け」。

非常に恐れた弟子たちはその場でひれ伏しましたが、イエス様が近づいてきて弟子たちに触れると、安心して顔を上げなさい、恐れることはないと言いました。顔を上げると、普段通りのイエス様だけがそこにいました。山を下る時、イエス様は三人の弟子たちに、「人の子が死者の中から復活するまで、今見たことをだれにも話してはならない」(9節)と伝えました。

(3) この記事は、イエス様が人間の側にもある者ではなく、神さまの側にもある者、天の存在でもあることを弟子たちに伝えた記事です。そのイエス様を、ここにいたペトロは「そんな人は知らない」と言ってしまいました。それは神を拒絶する発言と言えます。そしてイエス様は十字架に架けられてしまいました。しかし、復活されたイエス様はそのペトロを赦し、再び弟子として招き、世に派遣されました。

ここに神の愛があります。

(多田玲一牧師)